



2023年 第127回愛農大学講座

小さくて頑丈な暮らし

8月20日（日）14時～ 8月23日（水）～16時 3泊4日

気候・経済・社会、すべてが不安定な時代を迎え私たちはどう生きるのか、
愛農学園にそのヒントを見つけに来ませんか？

講師紹介

飯尾裕光



1975年生まれ。
愛知県津島市「自然食品・天然雑貨のお店
株式会社りんねしゃ（1979年創業）」の2代
目として日本の有機農業自然食運動の変遷を幼
少期から体験し、里山の農と食と暮らしに魅了
される。

講義「カッパの里山経済学」～カッパの視線で捉え直す自然と農～

実習「蚊取り線香作りワークショップ」

※除虫菊栽培と蚊取り線香で小農の自立を目指すケニアの取組報告あり

エップ・レイモンド・ロイ



アメリカ・ネブラスカ州出身。
大学生の時、大規模農業が社会や環境に与
える影響に疑問を持ち平和学を学ぶためカナ
ダへ。地域に根ざしたパン屋を仲間と開設したり、CSA（地域で支え合う農業）の
立ち上げに関わる。

講義「大地再生農業（リジェネラティブ農業）の理論と実践」

野呂由彦



1960年岩手県出身。農家になりたく日本各地を巡る。
各地を巡る中、1987年に三重県勢和村（現多気町）に
て家族農家生活が始まる。田んぼ、畑、鶏、山林に関わ
り自給自足を目指し楽しみながら日々悪戦苦闘している。
田んぼに1本1本苗を植えながら家族で生きる関わり
、地域で助け合い協力しながらみんなが気楽に暮らし
ていけたらいいなど、時々腰を伸ばしつつまわりの風景
に目をやりながら考えている。

講義「みんなの田んぼから"みんな田んぼ"の風景」

～お米生産の田んぼから生きるを育む田んぼへ～

実習「愛農かまどで竹筒ごはん炊き」

坂本耕太郎



桜の山農場代表。25歳の時に農場を始める。そのころ『平和
について考えるとエネルギーにたどり着く』という言葉に出
会う。世界で起こる様々な紛争は石油や石炭、天然ガスや
水、それらが通るライフライン上で起きているということに
衝撃を受け、食べるものと暮らしのエネルギーを自給するラ
イフスタイルこそが「自分たちができる平和活動」と確信。
地域循環の豚飼いや、無農薬の米作り、自分たちの食べるもの
と暮らしのエネルギー自給を楽しみながら実践中。

講義「地域資源で豚を飼い食とエネルギーを自給」

～大きなしぐみに頼らない桜の山農場の豊かな暮らし～

現地学習「ソーラーでつくった電気を売電しないで自家消費」

～これからのエネルギー自給のあり得るかたち～

添田潤



環境問題から有機農家を目指す。高校卒業後茨城
県の有機農場で3年間働き有機農業や自然農法に
疑問を感じる。そのなかで、25歳で新規就農し、現在は京野
菜の万願寺あまとうの協議会長を務め、新規就農
者と共に生き残るための活動をしている。

早朝講話「クリスチャンになって自然農法をやめました」

藤原明生



1982年生まれ。愛農高校卒業。
京都府伊根町にて農業（やさいや土の子）
を営む。植物、動物、昆虫、微生物のバラ
ンスがとれた“畑の森”ができることをイ
メージして待つ栽培を実践している。

早朝講話「生命に囲まれて生かされている」

近藤百



愛農学園農業高等学校教諭。兵庫県三田市生まれ。
11世帯の山村で加治屋の長男として育つ。大学で林
学を学んだあと、大阪の材木会社で営業マンとして5
年間働く。そのなかで、ほんとうに豊かな暮らしと
は何なのかを考え始め、縁があって2014年愛農高校
果樹部の教諭となる。人生のテーマは「小さくて頑
丈な暮らしを作る」。

早朝講話「小さくて頑丈な暮らし」

岡田桂織



三重県生まれ。出張料理教室『桂樹庵』を展
開。作る料理は伝統製法で作られた調味料を
使った穀物菜食。

私は何でも食べる野菜系雑食人。

『こたわるけれど、囚われない！』が信条。

料理教室「いのちと健康をはぐくむ食」

裏面に
プログラム
申込案内あります



プログラム紹介

※21日（月）午後の部は、榎田劭さんから、野呂由彦さんの講義・実習に変更となりました。

	1日目：8月20日（日）	2日目：8月21日（月）	3日目：8月22日（火）	4日目：8月23日（水）
早朝講話 6:30-7:30	※初日は14:00～スタート、 最終日は16:00終了予定 です。	近藤 百 「小さくて頑丈な暮らし」	藤原 明生 「生命に囲まれて生かされている」	添田 潤 「クリスチャンになって 自然農法をやめました」
朝食		朝食		
午前の部	※講座中は朝食（玄米がゆ） 以外は毎食愛農かまどで ご飯を炊きます。 ※宿泊は男女別の相部屋で す。	飯尾裕光《講義と実習》 「カッパの里山経済学」 ～カッパの視線で捉え直す自然と農～ 「蚊取り線香作りワークショップ」 ※除虫菊栽培と蚊取り線香で小農の自立 を目指すケニアの取組報告も行います	坂本耕太郎《講義》 「地域資源で豚を飼い食と エネルギーを自給～大きな しくみに頼らない桜の山農 場の豊かな暮らし～ 岡田桂織《調理実習》 「いのちと健康をはぐくむ食」	エップ・レイモンド・ロイ《講義》 「大地再生農業（リジェネラ ティブ農業）の理論と実践」
昼食		昼食		
午後の部	・14:00～ 開校式 ・オリエンテーション 奥田美和子《おはなし》 「平和のかまど」 ・キャンパスツアー ・《実習》愛高農場で農作業	野呂 由彦《講義と実習》 「みんなの田んぼから ”みんな田んぼ”の風景」 ～お米生産の田んぼから 生きるを育む田んぼへ～ ※愛農かまどで竹筒ご飯炊き 体験も行います	坂本耕太郎 《ソーラー発電システムの見学とお話》 「売電しないで自家消費～ これからのエネルギー自給 のあり得るかたち～」 ※使用済み天ぷら油で走るよう改造され た坂本さんの愛車も見せていただきます 《実習》ニワトリの解体	・クエスチョンサークル （リード：飯尾裕光） ・シェアリング ・15:30～ 閉校式
夕食		夕食		
夜の部	アイスブレイク・自己紹介	愛農高校専攻科生実習報告	交流座談会	

イベント 詳細

- ・主催：公益社団法人全国愛農会
- ・会場：愛農学園（三重県伊賀市別府690番地）
- ・参加費（税込）
一般：47,300円
愛農会員（個人・家族・団体）・学生：41,800円
- ・定員：20名



BBQ
愛農かまど炊飯体験
もあります！



7/18（火）10:00～

愛農会HPにて申込開始 ↓



締め切り日
8/15（火）

<https://x.gd/JPO82>



問い合わせ TEL 0595-52-0108 natsukawa@ainou.or.jp（担当：夏川）
公益社団法人全国愛農会